

# 目次

## 概要

[なぜスタジオのリソース ツリーのルートにパッケージ レベル .car ファイルをインポートする必要がありますか。](#)

## 概要

この資料は Cisco インフォメーション・サーバー ( CIS ) スタジオで .car ファイルのインポートを説明したものです。

## スタジオのリソース ツリーのルートにパッケージ レベル .car ファイルをインポートする必要がある理由

時々組織目的で、そのコンテンツが含まれているためにとりわけ .car ファイル作成したフォルダに .car ファイルをインポートしたいと思うかもしれません。一つのビューおよびデータ ソースが含まれている .car ファイルのような簡単なケースに関しては、それは良いです。

でもっと複雑 .car ファイルが単一 フォルダにインポートされた場合 .car ファイルがさまざまなパーサーか他のランタイムエラーという結果にいくつかのオブジェクトに同じ名前があるが、hierarchy の異なるレベルにあるリソースの多重レベル階層が ( リソース ツリー パス )、これが含まれているケース終る場合がある。

ユーザが定義するフォルダにそれをインポートする場合、すべてのオブジェクトはその単一 フォルダの同じパスに行きつきます。どの重複する名前競合でもそれらのリソースの損失、およびこうして生じるエラーという結果に終わります。

これを避けるために、スタジオのリソース ツリーのルートに .car ファイルをインポートして下さい。

これはデスクトップ ( <username> ) として分類されるノードです。

インポートはそれからソースサーバにあったようにオリジナル経路を保ちます、それ故にすべてのパスおよびリソース オブジェクトを維持します。

リソースがどこに行きつくか見たいと思えば、インポート ユーザインターフェイス ( UI ) のプレビュー ボタンはオブジェクトの宛先をリストします。